

なんま

地域づくり 通信 No.1

環境にやさしい南橘地域に

2007年10月15日号

編集・発行：南橘地区地域づくり
推進協議会 広報部会
事務局：南橘公民館内
TEL 027-231-2376

南橘地区地域づくり推進協議会

発足に向けて

会長 角田 雄二

平成十八年四月一日、前橋市よりモデル地区に指定され、一年間推進委員のかたがたと検討を重ねた結果、平成十九年四月一日より、四部会を発足させ、正式に地域づくりの事業がスタートしました。

一、自然環境部会

「赤城白川まつり」四月二十九日実施。

二、花・緑いっぱい部会

「菜の花(田口菜)プロジェクト」川端町の遊休農地約九百坪に種まきを十月六日実施。

三、ごみ減量・リサイクル部会

「廃食用油回収庫」南橘公民館に開設。六月十二日。

四、広報部会

「地域づくり通信」を発行。

今後の計画として、橋山山桜植樹祭(橋山に山桜を二百本植える。十一月二十三日予定)

有価物集団回収のコンクール実施など、地区住民一万六千世帯の協力を得ながら、地域に活動の輪を広げ、地域づくりの事業を進めてまいりたいと思っておりますので、よろしくお願い申し上げます。

「地域づくり」と第一次モデル地区指定



モデル事業指定授与式



前橋市では、身近な課題の解決と創出に向け誰もが安全で安心して暮らせる地域づくりのため第一次モデル地区として「南橘、清里、桂萱、上川淵、大胡」の五地区を指定。平成十八年四月検討開始、平成十九年四月にスタートしました。



南橘地区モデル事業講演会

取り組みの経過

◎平成十八年四月 モデル地区に指定される。

◎同年六月六日 「南橘地区モデル事業」講演会開催。

▽開催テーマ 「南橘をいっそう住みよい地域に」

▽講演 「なぜ、いま地域づくりか」

▽講師 高崎経済大学地域政策学部助教授 櫻井常夫氏

▽参加者 百二十名

◎同年六月二十七日 第一回ワークショップ(地域づくり検討会)開催

◎同年七月十二日 第二回ワークショップ開催

高経大櫻井助教授と、ゼミ学生が参加、意見交換をする。

参加者は、二回で百三十五名ゼミ学生二十名参加。

◎二回のワークショップ後、二十名で「作業部会」を設置。具体的検討に入る。

◎同年九月二十日 第一回作業部会(以後平成十九年一月十五日までに六回開催)

◎平成十九年一月三十日南橘地区地域づくり推進協議会を開催。

▽南橘地区地域づくり推進大会開催内容について。

▽部会の設立と方針の確認。

①自然環境部会

②花・緑いっぱい部会

③ごみ減量・リサイクル部会

④広報部会



ワークショップ風景

南橋地区地域づくり推進大会開催！！



「環境にやさしい南橋地区」をテーマに、推進大会を平成十九年二月二十四日南橋公民館で開催。

大会には、地域の方々、各種団体から百五十名が参加し、前橋市から高木市長ほか幹部も参加されました。

大会では、経過報告、推進協議会の設置と役員体制、環境づくり宣言〇七および平成十九年度活動方針が提案され、原案通り承認されました。

田口町・下細井町・北代田町および関根町から地域活動の事例発表、続いて、群馬大学教育学部助教授 西園大実先生の「環境の保全は、地域づくりから」をテーマにした記念講演をもって大会を終了しました。

赤城白川まつい

南橋地区地域づくり事業の第一弾として、「自然環境部会」と上細井町、下細井町、北代田町、龍蔵寺町および青柳町の流域各自治会の共催で、平成十九年四月二十九日に開催されました。開会式では、下細井町と上小出町の「子供八木節の会」が元気な演奏を披露。続いて細井小西側の「水辺の楽校」を中心に、河川敷のゴミ拾い、動植物の観察を行いました。



主催者側で用意した焼きそばと飲み物が、五百名を越える参加者に振舞われ終了しました。

▽橋山の山桜植樹祭
十一月二十三日(金)開催予定

「南橋地区環境地域づくり宣言07」

私たちは「赤城白川」「桃ノ木川」「橋山」など南橋地域の身近な自然を大切に、次の世代に引き継ぎます。
より住みよい環境を築くため、「花・緑いっぱい」の運動を推進します。
人と自然が共生できる社会をめざし、地域・家庭から「ごみ減量・リサイクル」に取り組みます。

1 南橋の自然を守ろう

- ・ 橋山を始め北部地域に残る「里山」を守ります。
- ・ 田口、川端、上細井地域のほたるが飛び交う環境を大切にします。
- ・ 桃ノ木川・赤城白川など身近な川を生かした活動に取り組みます。
- ・ 子どもたちをはじめ多くの方が南橋の自然にふれあえるよう自然観察会を開きます。

2 花・緑いっぱいの南橋地域に

- ・ 花いっぱい運動コンクールを引き続き行います。
- ・ 街角花壇づくりで歩いて楽しい町にします。
- ・ 遊休農地を花いっぱいにします。
- ・ 家庭菜園普及で健康と緑いっぱいにします。



3 ごみ減量・リサイクルで環境にやさしい地域に

- ・ ごみの分別を守ってリサイクルをいっそう推進します。
- ・ 有価物集団回収の回数増と雑紙回収を推進します。
- ・ 古着などの再利用を推進するため、無料交換会を地区・町で開きます。
- ・ 廃食用油を回収し、石炭やバイオ燃料にリサイクルします。
- ・ 地区や町の行事での使い捨て容器使用を減らします。



以上を目標に、南橋地区地域づくりに取り組むことを宣言します。

平成19年2月24日 第1回 南橋地区地域づくり推進大会
問い合わせ：南橋公民館 5 027-231-2376

花・緑いっぱい部会

◎ 菜の花(田口菜)プロジェクトの発足

南橋地区内の遊休農地を菜の花(田口菜)でいっぱいにする。耕運、種まき、除草、摘み菜、種とりおよび搾油を体験し、食と農への理解を深めます。

▽プロジェクト発足式
(平成十九年八月二十五日)
於：南橋公民館



プロジェクト応募者、役員含め、七十二名の出席で開催。
【「菜の花クラブ」の活動経験】と題し、草場史子先生の記念講

演、「菜の花クラブ」の活動展示および菜種搾油の実演が行われました。

十月六日(土)の種まきに続き、平成二十年三月下旬「摘み菜・菜の花観賞会」(調理教室も併催)、五月下旬には種とり・搾油と続いていきます。

ごみ減量・リサイクル部会

◎ 廃食用油回収のスタート
各家庭でいらなくなった食用油(期限切れ、未使用油含む)を回収し、バイオ燃料にリサイクルします。

▽回収庫開き
平成十九年六月十二日(火)
於：南橋公民館
セレモニー後、「廃食用油回収の意義と各地の経験」と題した石北 仁先生の記念講演がありました。

▽「衣類無料配布会」十一月四日(日)南橋公民館で開催予定

有価物集団回収コンクールも実施します。

